



戮力協心



5月9日 創立50周年記念大会

2009年度
(社)鳥取青年会議所
会報誌 5月号



INNOVA [ina:va]
変革

「感謝と決意」 理事長 水野 由久

皆様のおかげで創立50周年記念式典並びに祝賀会を成功させることができました。昨年から現在に至るまでの地道な準備と努力があったからこそ、お客様に満足していただき、我々自身が感動することのできたのだと思います。多くのOBの方々に助けていただいたのはないでしょうか。(社)釧路青年会議所の皆さんをはじめ、各地から駆けつけて頂いた他、LOMの方々とも友情を深めることができました。来賓、外部褒賞者、マスコミ各社、他団体の方々にも(社)鳥取青年会議所の因幡に対する思いや組織の勢いを感じて頂けたと思います。50周年実行特別委員会のメンバーをはじめ協力を頂きました。誠に、大切なことであるからであり、これで満足してしまつては意味がありません。創立50周年記念大会を盛大に行つたこと自体で地域を明るく豊かにすることはできません。出席頂いた多くの方に感謝の念を表し、これから新たな歴史を築いていく決意を表明しました。この決意をしっかりと胸に刻み、「環光のまち因幡」推進運動という基軸のもと、我々の英知と勇気と情熱をもって着実に活動をしていくことよって地域を明るく豊かにするのです。我々の地域に対するおもしろいを広げるための会員拡大も正念場です。最後まであきらめず責任を共有し結果を残しましょう。それぞれの委員会活動も事業に向かつて具体的に準備を進めていく時期に入りました。事業は委員会のみで行うのではなく、全メンバーの英知と勇気と情熱を活用して行うことが大切です。今の委員会活動が(社)鳥取青年会議所のあらゆる資産をフル活用しているのかどうか自問自答してみてください。創立50周年記念大会でも分かんないように、(社)鳥取青年会議所はとてつもないエネルギーを持っていきます。それを信じて、全てのメンバーで問題を解決し、未来に向かって勇気を持ってチャレンジしましょう。

2009年度 日本JCスローガン

やさしくあるために、つよくなる

愛に満ち溢れたつよい JAYCEE によるアドマイヤー型社会の実現「真日本建国」に向けて

2009年度 鳥取JCスローガン

~ 未来の笑顔は我が責務なり ~

将来の因幡を担う今の子供達が大人になった時に、「因幡に生まれて良かった」と思うことのできるまちを創る責任を負って(社)鳥取青年会議所は活動します。



【戮力協心】りくりよく-きょうしん... 全員の力を結集し、一致協力して任務に当たること。「戮」には合わせる、一つに



会場の様子

鳥取ブロック協議会
連携推進運動実践委員会
委員長 妹尾 祐司

去る5月3日に倉吉の地に標記の事業を開催し、180名の方々に、ご来場いただきました。憲法記念日であるこの日、全国47ブロック協議会にて「憲法タウンミーティング」の一斉開催ということで、全国的にもマスコミ等で取り上げられました。(鳥取は、日本海新聞、山陰中央新報、朝日新聞、読売新聞、日本海テレビ、NCN、共同通信、FM山陰)

4月定例会 ゲストタイム

基調講演
『乾燥地研究センターの紹介
〜鳥取砂丘から世界の乾燥地研究へ〜』
講師：鳥取大学・乾燥地研究センター
センター長 恒川 篤史 氏

事と、市民の地方自治への関心が薄く感じられるという事で、独自の論点設定としました。中部の議員の方々は多くご来場でしたが、地域にそして市民に近い目線で、まずは地域、そしてそこから日本をより良くして行くという機運の盛り上がりの一助になればと思っております。

ご来場の方々、出向メンバーご協力いただきました方々ありがとうございました。



パネリスト:左から 石破茂氏 川上義博氏 平井伸治氏 岡崎博紀ブロック会長

「知らないければ伝えることは出来ない」この事を実感、体験した講演内容でした。知って理解しなければ「伝える事」すら出来ません。「乾地研」については多くの人がそうであるように、施設は知っているても活動内容を把握している人はごく一部だったと思います。

今回のゲストタイムで、「知り理解する」事ができました。知って理解することで、はじめて「伝える事」が可能になります。世界でも有数の「乾燥地研究センター」の活動や研究内容、

◎5月理事会報告
組織力向上特別委員会
委員長 柴原 史則

創立50周年式典・懇親会が大成功に終わった影響か、5月の理事会は審議案、協議案共に他のメンバーより建設的な意見が多く出ており、各委員会が上程する事業案がより良い事業になるよう協力しようという姿勢が強く感じられた理事会であったと思います。

【じゃがいも会】

次のじゃがいも会は6月開催を考えています。6月、7月とLOMの事業もあり、またブロックや地区の事業やサマコンもありますが、じゃがいも会もよろしく願います。

《今月のコメント》幹事団 吉田友和

じゃがいも幹事に入団させて頂き初めてのじゃがいも会開催でした。開催前からの盛り上がりには、かなりビックリしました。運営して楽しく出来ましたし、参加された方からも感動のよい感想が聞きたのでよかったです。今後のJC活動にも参考にしていきたいと思ひます。

【青雀会】

4月28日(火)に行われた4月青雀会は、今年は？絶好調！西垣豪君が優勝されました！おめでとうございます！詳細は会員専用HPをご覧ください。得点表も掲載しています！

そして5月の青雀会は、下記の日程です。

開催日 5月26日(火)
場所 いつもの「式部」
時間 19:30~より

次回も多数のご参加お待ちしております！



今ページの詳しい内容につきましては、(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページをご覧ください。
URL <http://torijc.main.jp>

「環光のまち因幡」推進運動

因幡の豊かな自然環境(ENVIRONMENT)と因幡の特徴を活かした環境保全活動(ECOLOGY)を観光資源として活用し、人と人の環を広めながら「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動です。

編集/発行/印刷：(社)鳥取青年会議所 広報委員会
鳥取市本町3丁目201番地 鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル4階 TEL：0857-24-1638
発行日：2009年5月20日

Tottori JC 50th

する意があり、「戮力」は力を合わせる事。「協心」は心を乱さず、調和をはかること。「協心戮力きょうしんりくりよく」ともいう。

創立50周年記念大会

御礼

50周年実行特別委員会
委員長 山根 康穂

5月9日(土)とりぎん文化会館に於いて開催致しました、(社)鳥取青年会議所創立50周年記念大会にご参加を頂きました各地青年会議所会員の皆様並びにOB会員の皆様、そして各種団体、行政、企業をはじめとする多くの市民の方々にご支援、ご協力を賜りました事を心より厚く御礼を申し上げます。

半世紀の節目である創立50周年記念大会のコンセプトを「環光のまちなみ」推進運動として、昨年から準備を進めてまいりました。(社)鳥取青年



式典 山根委員長の開会宣言

会議所会員が一丸となって元気に創立50周年を迎えたことが、大成功の運びになったと実感しております。これも会員皆様の御尽力のおかげで御座います。そして50周年実行特別委員会メンバーの皆様に感謝と御礼を申し上げます。

最後になりましたが、5年後に開催される創立55周年が(社)鳥取青年会議所と因幡地域にとって、益々発展する大会となります事を祈り申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

50周年記念大会を終えて

50周年実行特別委員会
副委員長 有本 由紀子

去る5月9日(土)、とりぎん文化会館にて50周年記念大会が行われました。当日は晴天に恵まれ、姉妹JCである釧路青年会議所様の27名をはじめ、約300名の方に出席して頂きました。

この日を迎えるまで、メンバーの皆様には数々の作業を手伝って頂きましたし、前日準備から翌日の撤収まで、本当にお忙しい中、参加して頂きまして誠にありがとうございました。皆様の協力があったからこそ、無事に記念大会を終えることができたのではないのでしょうか。

メンバーの皆様、そして何より森田副理事長、山根委員長、そして委員会メンバーの皆に感謝いたします。ありがとうございました。

50周年記念大会を終えて

50周年実行特別委員会
委員 田中 信也

皆様には前日、当日もそうですが事前準備から多くの御協力を頂きまして本当にありがとうございました。

入会3年目と経験の浅い私が50周年という節目の記念大会の担当させていただきました。感謝とお詫びの思いでいっぱいです。

今後この経験を生かし、日々精進していきたいと思えます。

50周年記念大会を終えて

社会参画推進委員会
委員 田淵 宏一

私は講師接待という役割をいただき、村田先生と様々なお話をさせていただきました。その話の中で、「ここにしか咲かない花を咲かせるべきだ」と仰っておられました。それはまさしく「環光のまちなみ」推進運動そのものです。記念大会を終えた後、多くのOBから賞賛をいただいたのと同じ



式典 水野理事長 挨拶

本年度の一大事業である鳥取青年会議所創立50周年記念大会が、大成功のうちに幕を閉じました。まずは50周年実行特別委員会の山根委員長をはじめ委員会メンバーの皆さん、大変お疲れ様でした。祝賀会最後の山根委員長の涙に表されるように、50周年実行特別委員会を核としてJCメンバー全員が一丸となり、各自が自覚を持って準備・設営

50周年記念大会を終えて

会員交流委員会
委員 田中 聡



鳥取JCミュージアム

今後の鳥取JCへの大きな期待を感じました。初めての周年でしたが、貴重な経験をさせていただきました。この経験がしっかりと活用できるよう取り組んでいきたいと思えます。皆様、お疲れ様でした。



祝賀会

50周年記念大会を終えて

50周年実行特別委員会
委員 高藤 大祐

この度、50周年特別委員会に配属された当初は、毎日が不安な気持ちでいっぱいだったように思います。この気持ちには、僕一人ではなく、委員長を始めとする委員会メンバー全員がそうだったのではないのでしょうか。式典当日が近づいていって、みんなの気持ちも一つにまとまっていき、なんと当日を迎える事が出来ました。この大きな大会で、本当に心強かったのは、当日鳥取JCメンバー全員が真剣に取り組む、一生懸命だったということではないでしょうか。この度の記念大会をおして大変多くの方に支えられ、そして多くの事を学びました。本当にありがとうございました。

を行い、また来場されたお客様に最高のホスピタリティをもっておもてなしをした結果、大成功に繋がったのだと思います。私もおもに祝賀会の準備に携わらせて頂きましたが、祝賀会終了後帰途につかれるお客様皆さんが、最高の笑顔だったような気がします。50周年という一つの節目に参加出来たのは私自身にとっても大変良い経験となりました。

創立50周年記念式典・祝賀会を終えて

総務委員会
委員 竹内 大直

先日の創立50周年記念式典・祝賀会皆様大変お疲れ様でした。昨年から特別委員会を立ち上げての準備という事で、大盛況に終わりとりあえず一安心された事と思えます。私も微力ながら、お客様を迎えるに



式典 会場の様子

創立50周年記念大会を終えて

50周年実行特別委員会
委員 奥村 直樹

去る、5月9日(土)創立50周年記念大会が行なわれました。私は50周年実行委員会式典担当として委員会を重ねていくうちに創立50周年という事の重大さとプレッシャーが、日に日に増して行きました。当日は、不甲斐ない私を多くのメンバーにご協力、ご支援頂き、無事に成功へと導いて頂きました。また山根委員長をはじめ委員会メンバーの皆さんにも多々ご迷惑をお掛けしましたが暖かく見守って下さいました。この経験を生かして、今後の活動に活かして行きたいと思えます。最後にありがとうございました。皆様、理事の皆さん、メンバーの皆さん、本当にありがとうございました。

50周年記念大会感想

50周年実行特別委員会
委員 奥田 真悟

5月9日とりぎん文化会館にて行われた50周年記念大会が無事終了しました。主催者側の立場でこんな多くの人数で開かれるイベントはおそらく今後ないだろうと思うほどの人数で、大きな達成感と喜びを感じることができました。そんな中、懇親会担当メンバーとして活動させていただきました。大変感謝しています。最後まで前向きに取り組んでくれたことは、同じ周年メンバーをはじめとするJCメンバー皆様のおかげだと思っております。重ね重ね感謝の気持ちでいっぱいです。



中庭に設置したイルミネーション

当たった接客・接遇の基本を皆様と練習させていただきました。当日は皆様しっかりと声出しもお辞儀もされていたし、私も再度基本を見直す機会でした。ありがとうございます。皆の力を結集した記念式典、後半は山根委員長の男泣きに感動しました。100周年に向けて、今回の経験をこれから入会してくる方々にも伝えていきたいと思えます。



麒麟獅子舞、狸々を演じられた水野理事長